

常陸大宮市の暮らし

常陸大宮市では、子育て・新婚世帯の方が市内で住宅を建てる・買う・借りる時のサポートとして、各種補助金制度があります。Uターンや移住で、これらの制度を活用した2家族に、常陸大宮市での暮らしについてのお話を伺いました。



Uターンで常陸大宮市へ
瀬谷さん一家

「のびのび育てたい」 子育ての目線でUターン

常陸大宮市出身の瀬谷さん夫妻。令和4年に、これまで住んでいた水戸市から、常陸大宮市へのUターンを決めました。「Uターンを考えていた当時、娘の芽生は保育園児でした。小学生、中学生と成長し

ていくのを想像し、共働きでの子育てに厳しさを感じました。常陸大宮市に戻れば、祖父母のサポートを受けやすく、子育ての大変さが減るのではと考えました」と話すのは夫の智洋さん。妻の希さんも「自宅の庭でのびのびと遊ばせられたらと思うのもUターンを決めた理由の一つです」と話してくれました。

移住したら 時間とお金が浮いた

常陸大宮市へ移住してから、「渋滞に巻き込まれなくなった」「生活コストが下がった」ことを特に感じたと瀬谷さん夫妻。「移住してから、出勤でも、休日の外出でも、スムーズに目的地へ向かえるようになりました。また、以前は、駐車場代など、サービスの利用にお金がかかる場面が多くありました。移住してから、細かな支出の機会が減ったと感じています」と智洋さんは話します。

市内のイベントは 子連れで参加しやすい

親となってからUターンしたことで、親目線でこれまで知らなかった常陸大宮市を知る機会が増えたと話します。「市内の祭りは、コンパクトにまとまっており、子連れで参加しやすいものばかり。これまで知らなかった祭りもありました。移住してから、市内の祭り・イベントには、ほぼ訪れています」と希さん。駐車場やトイレ探しの苦労も以前と比べて減ったと話してくれました。



▲「移住で保育園が途中で変わることに対する不安も市のこどもセンターなどが親身に相談に乗ってくれました」と希さん。取材中、息子の直生さんが楽しそうに保育園での出来事を話してくれる場面も。

この補助金を活用しました！ - 瀬谷さん一家の場合 -

- 住宅取得奨励金【詳しくは5ページ】
- 自立・分散型エネルギー設備導入事業費補助金

住宅への蓄電システムの設置に対して、1設備あたり50,000円の補助を行っています。

※瀬谷さんの場合は、上記の補助金の前身となる「住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金」の交付を受けています。



大学時代の縁がつながり 常陸大宮市へ

東京都や神奈川県で小学校教諭として働いていた小島さん夫妻。ともに青年海外協力隊としてアフリカのナミビアに赴任したことがきっかけで結婚したお二人は、神奈川県での生活を経て、常陸大宮市への移住を決めました。「常陸大宮市出身の大学時代の友人から『学童を作りたい』という相談を受けたのが移住のきっかけでした。大学時代から、ほぼ毎年、常陸大宮市を訪れていて馴染みがあったことと、『おもしろそう』と思ったらすぐチャレンジする性格から移住を決めました」と英久さんは話します。

一方、妻の万貴子さんは、英久さんとの出会いを通じて、常陸大宮市を知りました。英久さんの思いを応援する形で市を訪れたところ一目惚れしたそう。「緑に囲まれるこの景色が良いなと感じました。食べ物もおいしいし、関わる人々が本当に温かいんです。特に、夫の友人のお母さんが大好きで、ここで生活するために必要なことをたくさん教わっています」と話します。

車移動が基本になり 行けるところが増えた

これまでの都心での生活では、電車や徒歩での移動が中心でしたが、常陸大宮市に移住し、車中心の生活となったことが一番の変化だという小島さん夫妻。「車での移動



神奈川県から移住

小島さん夫妻

が基本になったことで、電車中心の生活では行き先の候補に挙がらなかった場所でも、気軽に行けるようになりました。休日は、ドライブを兼ねて、ショッピングモールや、森の奥のカフェなど、車だからこそ行ける場所に行くことが楽しみです」と英久さんは話します。

気軽に集える場所作りに 向けて活動する日々

現在、英久さんは、茨城県北地域おこし協力隊として、「人と人をつなぐ」というミッションのもと活動しています。そのために、取り組んでいるのが、地域の人々が集えるスペース作りです。「常陸大宮市で、唯一惜しいと思ったのが、仲間が集うことや、外で仕事や読書などが気

軽にできる場所の選択肢が少ないことです。現時点では、カフェ形態を考えていて、騒がしすぎず、静かすぎない、みんながリラックスできる場所を作りたいです」と英久さんは今後の目標を話してくれました。



▲創業支援補助金を活用し「green tree coffee roaster」をオープンさせたご夫婦とも縁がつながったという英久さん。「カフェではその豆を使いたいと考えています。移住してできた縁が協力隊活動への自信に変わっています」と話します。

この補助金を活用しました！
- 小島さん夫妻の場合 -

- 住宅取得奨励金【詳しくは5ページ】

小島さん夫妻は自宅と学童を同じ建物として建設しました。住宅と事務所を兼ねた場合でも奨励金交付の対象になります。



▲英久さんが理事の一員を務める「星空学童クラブ」兼小島さん夫妻のご自宅。大きな窓がある部屋が学童クラブです。

茨城県北地域おこし協力隊【起業・複業型】(KENPOKU PROJECT E)メンバーである英久さんの活動の様子や、過去にアフリカ54か国を旅した貴重なエピソードが見られるブログ・SNSリンク集は二次元コードから！



わたしの常陸大宮市の推しポイント！

都心と近い

高速道路を使えば片道2時間前後で行けるので、思ったより近いなと思いました。



引っ越し直前、友人に「一生会えない」くらいの勢いで送別会をしてもらいましたが、全然すぐに会える距離でした(笑)

疲れも吹き飛ばす！ 近所の洋菓子店

移住する前は、「おいしいチョコやケーキがなかなか食べられなくなるのかな」と不安に思っていたのですが、「パティスリーヒカリノ木」さんの存在がそんな思いを晴らしてくれました。



お肉が安くておいしい！ 地元のスーパー

常陸大宮市のスーパーは都心より低価格なのに、質が良いと感じます。お肉が安くておいしい「スーパーヒロセヤ」さんがお気に入りです。

なんでもそろうショッピングセンター ピサー口

ピサー口の中でも特に良いなと思っているのが「おもちゃのおかざき」さん。昔ながらの「おもちゃ屋さん」の良さが残っているなと感じます。



気軽に行ける距離で、食料品、日用品がなんでもそろうので、助かっています。ピサー口の森も、利用料金が近隣施設に比べて安く、天候に左右されない遊び場として、度々訪れています。

移住してきたからこそその視点 / もっとこんな制度があったらうれしい！

車が必須だからこそ購入補助を！

常陸大宮市への移住がきっかけで、自動車免許を取り、車を購入しました。これまで車を持っていなかった人が移住する際、住まい探しだけではなく、車の購入も必須レベルなので、補助があると、今までより移住へのハードルが下がる気がします。



【市からの回答】

29歳以下の移住者であれば、「**Uターン就職支援金**」をご活用いただけます！



市へ移住し、新たに就職などをした29歳以下の方が対象の「U-29Uターン就職支援金」では、常陸大宮市出身者に50万円、市外出身者に30万円の支援金を交付！新生活の準備にぜひお役立てください。

今、常陸大宮市に住む人も使える！

常陸大宮市の移住・定住支援事業

家を建てる・買う

新婚・子育て世帯の住宅購入を支援！

住宅取得奨励金

問 定住推進課 定住推進 G ☎55-8065

子育て世帯を中心とした定住を促進するため、市内に住宅を建設・購入するご家族を対象に「住宅取得奨励金」を交付しています。さらに、転入や水道の給水管整備に応じて、奨励金に加算されます。



	住宅の種類	奨励金	加算	
			転入加算	水道加入金 助成加算*
最大 89万円	新築・建売	50万円	+20万円	+最大 19万円
最大 45万円	中古	25万円	+20万円	

※給水管の口径に応じて助成金を加算します。(口径13mm：12万円、20mm以上：19万円)

木材の地産地消を支援！

常陸大宮市木造住宅助成制度

問 農林振興課 農林整備 G ☎55-8072

常陸大宮市産材を5㎡以上使用し、市内の建設業者が施工した住宅を新築する方に対して、市産材1㎡当たり4万円、上限60万円までの助成を行っています。



水環境を守る設備設置に支援！

浄化槽の設置等に関する補助金

問 上下水道部 総務経営課 総務経営 G ☎52-0427

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防ぐため、合併処理浄化槽を設置される方に、予算の範囲内で補助金を交付します。



部屋を借りる

新婚生活スタートを支援！

新婚家庭への家賃助成金

問 定住推進課 定住推進 G ☎55-8065

「家賃5万円以上の賃貸住宅に入居している」「結婚した日から3年以内」「夫・妻どちらも40歳未満」のご夫婦に対し、月額1.5万円の家賃助成を行っています。最長で4年間、助成を受けられます。



他にもいろいろ！ 補助金・助成金・ サポート制度

このページで紹介した住まいに関する支援以外にも、妊娠・出産・子育てや、起業応援など、各種補助金、サポート制度があります。行っている支援の一覧は、右の二次元コードからご覧ください。

